

コミ協だより

第6号

み な と

発行日 平成24年2月3日
発行 湊校区コミュニティ協議会
総務部会 編集委員会



平成二十三年は、東日本大震災による地震・巨大津波・原子力発電所の大事故や、和歌山県を中心とした集中豪雨など、大変な一年でありました。私たち湊コミ協では、こんな時だからこそと、第二回目の総合防災訓練を予定どおり六月二十六日(日)に実施し、約四百名の

第2回 総合防災訓練

3・11を教訓に 体験できた地域の絆

防災安全部会長 森山 正邦

参加で会場も大いに盛り上がりました。訓練当日は雨や風と云ったあいにくの天気で屋外での訓練も儘ならず、体育館内に集中することとなり、来た人全てに体験できませんでしたが、AEDなど、見てる事で学べるものもあり、それぞれ気の向くまま行動されておりました。



また当日、市内の大学に留学されている外国人の学生さん二十名も参加し、熱心に体験されている姿に、災害は万国共通であること

の親近感を感じさせてくれるものでした。
この度の大震災では、「絆」と云う言葉がクローズアップされました。日頃からご近所との交流の大切さ、ご近所の事にもお互いに関心を持ち、もしもの時のために心の準備を願うものであります。
防犯に於いては、警察署の話しによれば、高齢者による万引きや、一段と巧妙化する振り込め詐欺の横行など、高齢者の話題が絶えない状況であるとのこと。また最近では、自転車運転のマナーやルール違反で事故が続出していることから、警察では取り締まりを強化しています。
自転車も自動車と同じ車両です。乗る際は、歩行者に思いやり、くれぐれも交通ルールを守った運転をお願いいたします。
防災安全部会では、これからも各種講習会を計画して参ります。皆様のご理解とご参加を期待しております。

<東日本大震災に義援金> 955,213円を被災地へ

逸速い取り組みに感謝、感激!!

中央区赤十字奉仕団

第十一分団長 佐島 清治

新春の侯、皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

の社費や赤い羽根募金等でご協力をいただき、分団を代表し厚く御礼を申しあげます。

地域の皆様には、毎年赤十字へ

を被った東日本大震災始め、近畿地方を中心とした集中豪雨な

児童・生徒数減少と 学校の適正配置について

会長 長谷川 守英

昨年は何かと協力を賜り、ありがとうございます。

として湊校、二葉校がクローズアップし、しかも両校は歴史的

未曾有の大災害の前に、人間の非力さと、人と人との絆の深さに感動を覚えました。さて今年度の地域の課題は、少子化による児童生徒数が減少し学校の適正配置について「新潟市立学校適正配置審議会」の答申を受け、市教育委員会から説明がありました。緊急性の高い当該校

にも地域の中核的な存在で、皆様の合意のもとに進めなければなりません。地域の実状を考慮し、現在の学校区を考えながら、皆さんと話し合い、次のステップに進み、子供達の為によりよい環境作りに努力したいと考えます。



ど災害の多い一年でありました。

また地元には原発事故の放射能避難のため、私たち校区へも約三十名の方々が一時避難され、避難先の自治会では丁寧に持て成されたことをお聞きし、誇らしく感じました。

特に特筆すべきことは、年度当初から湊コミ協独自で逸速く義援金の募金に取り組みられたことでした。

皆さまには各方面からの義援金要請に応えられていたことで

しょう。そんな折でも地域の取り組みに賛同された善意の証が、九五五、二一三円もの大金となって表されました。

この大災害は、行政の力だけでは決して解決できないものと承知しての行動だったと思えます。

早速六月二日(木)に長谷川会長さん共々、日赤県支部を訪問し、白倉事務局長にお届けして参りました。

日本赤十字社の役割は国内に限らず世界中の災害や貧困、子供たちの命を救うための大きな力となって活動されております。

これからも赤十字活動に対し、暖かいご支援をお願いいたします。

また、万が一の災害に対し備えをすること。そして日頃より隣近所と仲良く、安心安全の町でいつまでも居たいものですね。

どうなる湊小学校

子供たちの幸せ願って考えよう

《学校の適正配置のお知らせ》

すでに、新聞紙上で報道されている通り、新潟市教育委員会では、学校の適正配置について地域検討会を開催するよう要望しています。

学校の統合について適正な規模の学校で、児童・生徒が充実した学校生活や学習や行事、部活動などが展開されることを期待しての措置です。

「学校適正配置基本方針」でいう「適正規模」とは小学校では12〜24学級、中学校では、9〜18学級としています。

さて、湊小学校と二葉中学校の実状はどうでしょうか。

今のままでいけば、小学校では来年度から複式学級ができ、中学校も超小規模校へととなります。複式学級というのは、2年

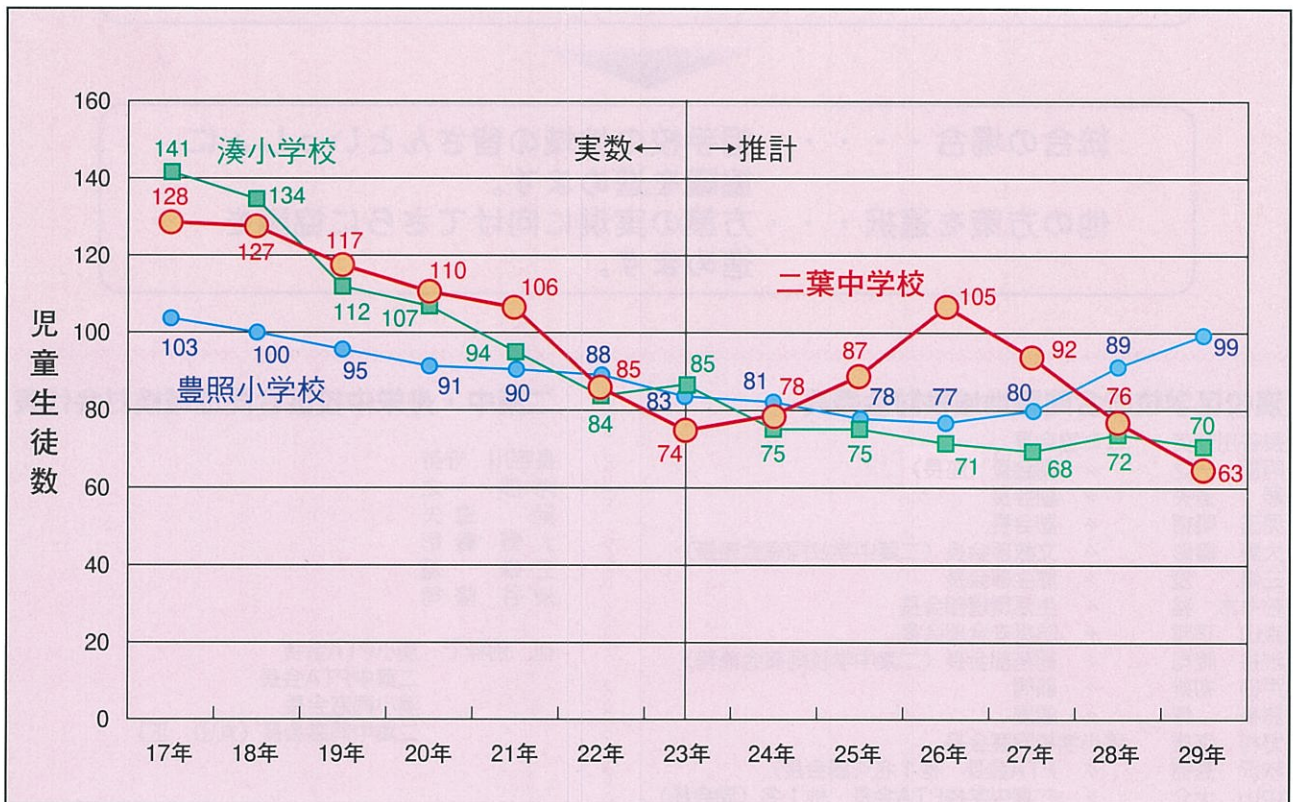
生以上の連続する2学年の児童数16人未満の場合、2学年を合わせて1学級とすることをいいます。そうなるとう児童の学習環境や学校運営にも大きな支障をきたします。

このような事態を何とか回避するためにも、今後の湊小・二葉中の在り方について保護者や地域、自治・町内会等で共に検討していく体制を整えていく必要があります。そのような話し合いの場が地域検討会です。

これまで、コミユニティ協議会を中心に昨年9月から数回にわたって、準備のための話し合いを続けてきました。

そして、1月17日(火)に「学校適正配置」について、市教育委員会による地域説明会を開催し

◎二葉中学校区児童生徒数の推移・推計



ました。

当日は、保護者、地域の関係団体の方々、コミュニティ協議会等およそ40人ほどの皆さんが参加しました。

少人数の学校への懸念や複式学級新設への不安、また伝統校への想いなど、多くの意見等が交錯しました。

最後に、統合についての意思確認を図った結果、ほとんどの参加者が統合を早急に進めてほしいという意見でした。

今後は、新たに結成される「地域検討会」で、具体的な統合への日程や地域の要望等をまとめる作業に入ります。

それをもとに、地域の合意として市教育委員会へ「要望書」を提出する方向で進んでいくものと考えます。

なお、このことについての今後の詳細は、その都度回覧文書によりお知らせする予定です。

協議の進め方 <新潟市教育委員会>

地域検討会の設立

地域に検討会を作ってください、今後の学校のあり方について検討をお願いします。

地域検討会のメンバーについては、地域の実状に応じて選んでいただきます。(コミュニティ協議会の役員、PTA役員、学校に関わる地域団体の代表など)

地域の合意形成

統合の場合・・・相手校の地域の皆さんと一っしょに協議を進めます。

他の方策を選択・・・方策の実現に向けてさらに協議を進めます。

湊校区学校統合問題地域検討会委員

長谷川守英	コミ協会長
阿部一之	〳 副会長
星道夫	〳 副会長
児玉明德	〳 副会長
大野義彰	〳 文教部会長(二葉中学校同窓会兼務)
三條澄	〳 厚生部会長
佐々木猛	〳 生活環境部会長
森山正邦	〳 防災安全部会長
渋谷隆司	〳 総務部会長(二葉中学校同窓会兼務)
戸田初雄	〳 顧問
諸橋惇	〳 顧問
野村幸雄	湊小学校同窓会長
秋沢秀樹	〳 PTA会長 他1名<副会長>
中山大介	〳 二葉中学校PTA会長 他1名(副会長)

二葉中・舟栄中校区合同地域検討会代表

長谷川守英	代表
阿部一之	〳
星道夫	〳
大野義彰	〳
三條澄	〳
渋谷隆司	〳
他、別枠で	湊小PTA会長
	二葉中PTA会長
	湊小同窓会長
	二葉中同窓会長(丸山 正)

文教部会

二白の餅があつという間に...。マジックショー&もちつき大会

文教部会長 大野 義彰

昨年11月26日(土)「二葉コミユニテイハウス」において、協議会主催の「マジックショー&もちつき大会」を開催いたしました。これは、その一年前の11月25日に、「地域三世交代交流事業」として開催いたしました

処、湊小の児童、保護者、地域の皆様が総勢一〇名以上も参加頂き、大変盛況かつ好評であったことから、二年連続で開催したものであります。前半はマジックショー、昨年と同じ「マジックワールド」の皆さん

が、今回は1名増の7名で大熱演をして頂きました。途中ちよつとしたミスやネタバレがあつたのは、アマチュアならでは。児童の皆さんとの掛け合いもあり、つつい時間をオー



バーする熱演で、演技の皆さんも、「子供さんとの掛け合い、反応が素晴らしく、とても楽しかった」と感想を言って頂きました。次は、「もちつき大会」です。一昨年ですっかり要領のわかつた児童の皆さんは、ヤル気満々

で順番待ちに我勝ちと並び始めました。でも「もちつき」に参加できない小さなお子様方には予じめ準備して頂いた「きなこ」と「あんこもち」を配り、食べ始めて貰いました。「さア子供達がついて！」の掛け声で、順番にもちつき開始、杵の重さで持ち上がらないなどご愛嬌ですが、つき上がったもちから、お手伝いの方より、「きなこ・あんこ」にして全員に配り始めました。二白目をつく間にも「お代わり」の声続出。あつという間に三白の餅が完食でした。前年は若干余りましたから、前年以上の方々にご参加頂いたものと、主催者として大変喜んでる処です。地域の方々にもこういう行事を通して、協議会活動に関心を持って頂ければ、幸甚であります。最後に、当日会場準備やら「餅作り」に多勢の方々からお手伝い頂きましたことを厚くお礼申し上げます。

生活環境部会

地域の環境整備にご協力を。

生活環境部会長 佐々木 猛

例年続けている湊婦人会の「公園愛護会」を側面支援する。曙公園の清掃事業を当部会の主たる平成二十四年度活動事業計画として継続、実施いたします。各町内会、自治会の担当、任務の日程は次の通りであります。四月は古町通十二番町、第二町内自治会、六月は西堀十一町内会、八月は上大川前通十二番町自治会、十月は曙町、横六番町町内会。その他に、竹内式部墓地は五月、日和山、住吉神社は九月に予定しております。何卒、各自治会、町内会の皆様には、旧を倍して御協力、御支援の程を、お願いいたします。



厚生部会

**高齢者の見守り事業として
友愛訪問事業と情報キットの配布**

厚生部会長 三條 澄

友愛訪問事業は、各町内会長さん及び民生児童委員、ボランティア協力員の方々の協力により十七町内会、自治会に拡大し、ひとり暮らしの高齢者の見守り安否確認を実施している人は、百四十名になりました。

年末のおせち料理も心待ちにしている方も多数おられ、大変喜んで頂きました。各々事情があると思いますが、湊校区内の全町内・自治会の加入を目指して努力したいと思っています。

年間事業予定では、防災マップの完成を目標としていましたが、高齢化が急激に進んでいる当校区内では、緊急時に役立つ情報キットの取組みが最優先と考えました。昨年七月より、社会福祉協議会の補助金の支給を受け、七十歳以上のひとり暮らし

しの方及び七十五歳以上の高齢者世帯を対象に配布を実施致しました。自宅で具合が悪くなり救急車を呼ぶなど「もしも！」の時、情報キットの中に、かかりつけ医や持病などの医療情報や薬剤情報、健康保険証（写し）等を入れて置くことで、万一の緊急時に、救急隊員が、適切で迅速な処置が行えます。本年度は、約四百本の配布を致しましたが、まだ余裕がありますので、ぜひ欲しいと言う方は、町内会長さんか、民生児童委員に申し出て下さい。

なお、来年度には、年齢を五歳下げて、六十五歳以上のひとり暮らしの方及び七十歳以上の高齢者世帯を対象に配布する予定でおります。

トピックス

やったア・二葉中生徒会

車椅子を

二葉コミハへ寄贈

1月15日付中央区だよりで掲載された二葉中学校生徒会が、約6年かけて回収した缶飲料のプルタブが、ようやく車椅子1台分(約800kg)に達したことで、地域福祉に貢献したいとの思いを、二葉コミハウス&日和山ワークセンターに寄贈して下さいました。



12月22日、学校での贈呈式には全校生徒立合いのもと、長谷川会長より感謝の言葉を述べられ、長年にわたり引継がれた善行に、地域の皆さまと共に拍手を贈ります。

編集後記

今回は、3・4面に「学校適正配置問題」を特集しました。

一昨年四月、地元新聞に市の公立学校適正審議会の答申が示され、いよいよ現実の問題として対処して行かなければならなくなりました。

全国的な少子高齢化、取り分け市街地に於ける急激的な少子化は、子を持つ保護者にとつて、一刻も早く統合をとの思いは、小生にとつても昔を顧みることのできないスピードで強く伝わって来ます。

コミ協の活動は多種多様、市からの働きかけで生まれたコミ協は、地域の皆さまの拠どころと言えるような活動ができれば、と願っております。

活動あつての広報紙。現状を見詰め分かりやすく伝えて参りたいと思います。